

# 全国瞬時警報システム(Jアラート)による ミサイル発射情報が発報された場合の対応について

Jアラートによるミサイル発射情報が発報された場合には、次の①から⑤に記載されている適切な避難行動等がとれるようにしなさい。

## ①避難行動

- ・屋外にいる場合： 近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいが、頑丈な建物が無ければ、それ以外の建物でも良い）の中、又は地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難する。
- ・建物がない場合： 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・屋内にいる場合： できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。（教室においては、ガラスの飛散を防ぐためにカーテンを閉め、各自の机を廊下側に結めて移動させ、机の下で頭部を保護し身を低くすることが望ましい）

### ※ 近くにミサイルが落下した場合

- ・屋外にいる場合： 口と鼻をハンカチ等で覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内又は風上へ避難する。
- ・屋内にいる場合： 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

## ②正確かつ迅速な情報収集

Jアラートの統報、テレビ、ラジオ、インターネットなど、また、学校外では、必要に応じて、付近の大人と協力して情報収集する。

## ③安否連絡方法の確認

保護者や学校との安否連絡方法等について、あらかじめ確認しておく。

## ④ミサイルの落下物と思われる不審な物を発見した場合 決して近寄らず、警察・消防に連絡する。

## ⑤場合別留意事項（Jアラートによるミサイル発射情報が奈良県を含む地域に発報された場合の対処）

- ・在宅時： 速やかに①の避難行動をとる。  
情報の収集に努め、Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」又は「日本の領海外に落下」となるまでは自宅待機をし、Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」又は「日本の領海外に落下」となった時点で安全とみなし登校する。  
追加情報が「直ちに避難」になった場合は自宅待機（避難行動の継続）をし、学校からの連絡があるまでは登校しない。（特に連絡が無い場合は臨時休業とする。）
- ・登下校時： 速やかに①の避難行動をとる。  
情報の収集に努め、Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」又は「日本の領海外に落下」となった時点で安全と見なし登校または下校を再開する。  
屋外で①の避難行動をとっていた時は追加情報が「直ちに避難」になった場合は可能な限り近くの建物や地下など安全な場所に避難する。
- ・在校時： 校舎内・体育館への避難や、建物内では窓から離れるなど、速やかに避難行動をとる。Jアラートによる追加情報が「ミサイル通過」又は「日本の領海外に落下」となった時点で安全と見なし学校活動を再開する。
- ・校外活動時： 近くの建物（コンクリート造り等頑丈な建物が望ましいが、頑丈な建物が無ければ、それ以外の建物でも良い）の中、又は地下（地下街や地下駅舎などの地下施設）に避難する。  
避難できる建物が無い場合は、地面に伏せて頭部を守る。
- ・バスや電車などに乗車時：  
：可能な場合は降車し、頑丈な建物等に避難する。又は、車内で姿勢を低くするなどの対応を行う。